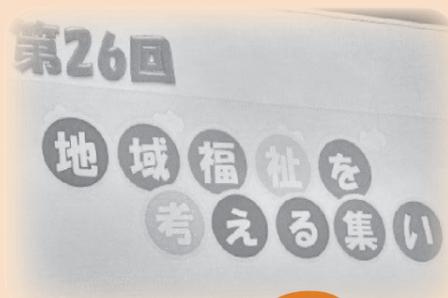


あげお社協だより

No.150

平成29年(2017)4月1日号
年4回(1月・4月・7月・10月)発行

第26回地域福祉を考える集い



住みなれた地域で、
みんなが安心して暮らし続けるために!



社協だより150号の内容

- 第26回「地域福祉を考える集い」…………… P 2・3
- 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 報告 …… P 4
- 会員会費報告・思いやりの心シリーズpart2 …… P 5
- 上尾市障害福祉サービス事業所「かしの木園」紹介…………… P 6
- 善意銀行助成金のお知らせ、善意銀行、ボランティア基金報告… P 7
- インフォメーション(お知らせ)…………… P 8

編集・発行人

社会福祉法人 上尾市社会福祉協議会
会長 島村 穰

〒362-0011 上尾市大字平塚724番地
上尾市総合福祉センター内

TEL:048-773-7155 FAX:048-772-8647

<http://www.ageo-shakyo.or.jp>

インフォメーション(おしらせ) INFORMATION

サービス提供責任者募集

募集人数 若干名(常勤嘱託職員)
資格要件 介護福祉士・実務者研修修了者
2013年3月までに介護職員基礎研修およびヘルパー1級取得者
普通運転免許証
業務内容 登録ヘルパーのシフト調整・介護技術の指導・関係事業所との連絡調整・計画書作成業務等
勤務場所 上尾市総合福祉センター(上尾市大字平塚724番地)
勤務時間 毎週日曜日から土曜日のうち、決められた日および時間
給与等 月額23万円 時間外勤務手当、通勤手当等当会要綱に基づき支給
問い合わせ 在宅福祉課 訪問介護係
TEL 048-773-7827
8:30~17:15
月~金曜日(祝日を除く)



登録ヘルパー募集

募集人数 若干名
資格要件 介護職員初任者研修修了以上(訪問介護職員養成研修(2級課程)修了相当)
勤務場所 上尾市内
※おおむね自宅から徒歩および自転車で通える範囲
勤務時間 毎週日曜日から土曜日のうち、決められた日および時間
給与等 時給1,335円(身体介護、生活介護同額)
1年後昇給有り
ほか、土日祝日、早朝、夜間、深夜手当等あり
申し込み 所定の申込用紙(写真1枚貼付)に必要な事項を記入の上、お申し込みください。
※申込用紙は在宅福祉課または上尾市社会福祉協議会、ホームページにあります。
問い合わせ 在宅福祉課 訪問介護係
TEL 048-773-7827
8:30~17:15 月~金曜日(祝日を除く)



リフト付車両「ふれあい号」利用のご案内

常時車いすを利用している身体障がい者の方が、病院の通院や公的機関への手続きの際に、リフト付車両「ふれあい号」を利用することができます。

利用できる人 市内在住の方で、身体障害者手帳1級から3級を所持し、常時車いすを使用している方。(付添人要)
利用目的 通院、公的機関の手続き
利用料 無料
利用できる地域 埼玉県内
問い合わせ 在宅福祉課 支援係
TEL 048-773-8500
9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)



アルミ缶をご提供ください

心身に障がいなどがある利用者の作業として皆さまからいただいたアルミ缶をプレスし、業者に納めています。

ご連絡をいただきました会社や個人のお宅に伺わせていただいております。アルミ缶提供のご協力を、よろしくお願いいたします。

※回収は、上尾市内に限らせていただきます。

問い合わせ 上尾市障害福祉サービス事業所かしの木園
TEL 048-776-2260
8:30~17:15 月~金曜日(祝日を除く)



車いすを貸し出しています

対象者 市内在住在勤の方で、介護保険等のサービスを利用できない方
料金 無料
貸出期間 2週間以内
持ち物 印鑑(貸し出しの際に申請書を記入)
問い合わせ 地域福祉課 TEL 048-773-7155
8:30~17:15 月~金曜日(祝日を除く)

※貸出状況により、すぐに利用できない場合がありますので、事前にお問い合わせください。



この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

第26回 「地域福祉を考える集い」

寄り添う支援と支え合える地域づくり ～生活困窮者自立支援制度の現状～

平成29年2月22日(水)上尾市コミュニティセンターに於いて第26回「地域福祉を考える集い」を開催しました。

近年の社会状況の変化に伴い、生活困窮に至るリスクの高い人が増加しており、こうした状況に対応するため、平成27年4月より「生活困窮者自立支援制度」が実施されました。

そこで、一年を経過した生活困窮者自立支援制度における上尾市の取り組みを、関係機関や地域のかかりについて、事例を通じて考える場とし、開催しました。

埼玉県福祉部社会福祉課 生活困窮者支援担当

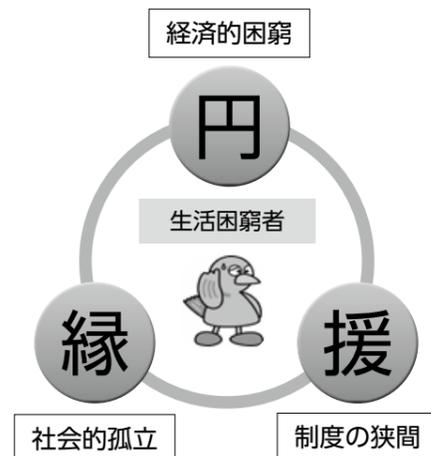
主幹 服部 孝氏



生活困窮者が失う3つの「エン」

基調講演として、服部氏には生活困窮者自立支援制度の概要を分かりやすく説明していただきました。服部氏は、生活困窮者について「単なる経済的な困窮というだけではなく、実はそれ以上に失っているものがある」と、切出されました。また、「人の縁」や「地域の縁」、あるいは自

生活困窮者が失う3つの「エン」



分から助けを求められずにいることで「(支)援」を失ってしまったっており、そうした方は孤立に陥りやすい傾向があります。他人の助けを求めないのが、「自立」と思ってしまうがちですが、困った時には、「助けてください」と言えて、逆に誰かが困っている時は助けてあげます。そうしたやりとりが日常の中で無意識にできるこそが自立であり、孤立を防ぐことに繋がっていきます。この講演が印象的でした。

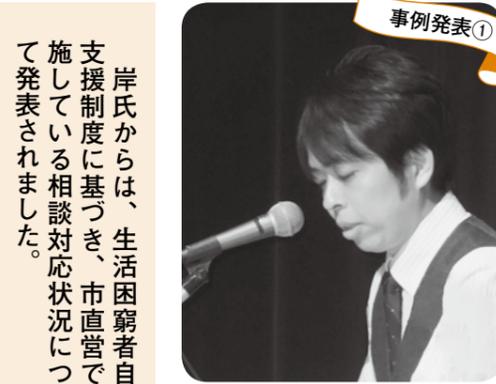
地域の困った人は、困っている人

地域の中で「あの人は困った人だな」と見ていると、いつまでも地域の中の孤立は解消されません。困った人は、何か困っている人」と見方を変えて、さらに周りの人とかかわりが薄くなってしまっている方であれば、そのことに気づくことが大切です。

孤立しない地域の実現

「支える」「支えられる」という関係だけではなく、「お互い様」という地域であることが大切です。それには、問題を抱える人を含め、一人ひとりが活躍できるような役割や場所をつくり、自然と「ありがとう」という関係になっていくことが、必要とされます。

3つの「エン」を失った方に対して、地域の住民一人ひとりが「お互い様」の意識を持つことにより、誰もがより住みやすい地域になっていくのではないのでしょうか。



事例発表①

上尾市生活支援課 主査 岸 浩光氏

岸氏からは、生活困窮者自立支援制度に基づき、市直営で実施している相談対応状況について発表されました。

上尾市くらしサポート相談窓口では、①自立相談支援事業②住居確保給付金の支給③子どもの学習支援事業を実施し、その方が自立できるように相談支援を行っています。

相談内容は、複合的にいるいろいろな要素が絡み合っているものも多く、単に就労支援をする、給付を行うというものではありません。

例えば、70代の方でも、生活保護を受けるのではなく働きたいという方を、就労に結びつけた事例もあります。

その方が自立に向けて、どのような目標を持っているのか、そのためには何が問題の原因となっているのかなど、ご本人の意向や周囲との関係把握した上での相談を心がけています。

田澤氏からは、地域内で様々な問題行動を起こし、近隣から心配されるようになった方とかかわりについて発表されました。

社協や行政との話し合いを重ねる中で、妻との離婚がきっかけで、もともと地域とのかかわりが希薄であったうえに、頼る家族も近くにいない、慣れない一人暮らしから様々な問題行動を起こしてしまうということがわかってきました。また、信頼関係を築く中で、本人の気持ちの底には、「近所の方と仲良くしたい」という思いがあることも、見えてきました。

このような方に対し、地域はどこまで支援をしていけば良いのかと課題は残りますが、問題解決のためには、関係機関と情報を共有すると共に、区長として積極的にかかわろうと考えるようになりました。住み慣れた地域でみんなが安心して暮らしていくために動くことは、地区の「長」としての役目だと思います。必ずしも解決の目途は立っていませんが、関係者の皆さんと「悩みを共有し、泥臭く粘り強く、一緒に行動すること」が大切と感じています。



事例発表②

大石地区 泉台事務区長 田澤 六三氏



事例発表③

大石西民生委員・児童委員協議会 大杉 美千代氏

上尾市社会福祉協議会西上尾第一回地支部 高橋 竹子氏 桑幡 寿海子氏

西上尾第一回地の皆さまからは認知症となった高齢者に対する「発見」から支援につなぐ「見守り」によるその人らしい生活を送るために最も大切であった地域のつながりについて発表されました。

家賃の滞納をきっかけに見えてきたのは、離婚による単身生活で精神面、経済面ともに生活が立ち行かなくなっていたという事です。収入面や金銭管理等、行政や社協による支援が入らない、食事がとれていないという事が続きました。地域関係者の他、交番や近隣のスーパーなども情報を共有し、安否確認をチームで行い、寄り添いながら接することで、少しでも安心してもらうように心がけました。その後、「食の確保」が最優先となり、この方は現在認知症治療のため病院に入院中です。

様々な事情を抱えながら暮らしている方に対しては、異変をできるだけ早く察知し、必要な支援につなげる必要があります。そのために大切なのは「早期発見」です。そして、その後もご本人が住み慣れた地域で暮らし続けていくためには、民生委員や支部社協、そして自治会など、そこに住む住民同士が継続的につながることが大切だと、改めて感じました。

参加者の声

“困った人は困っている人”
このことを心に置き、これからの活動をしていきたい。

本人からの助けを求める事はなかなか難しいと、今までの経験で感じます。周りの気づきが大切だと思いました。

みんな住み慣れた地域にいたい気持ちがよくわかった。それをどう支え合っていくのが大切。

たくさんの方のご来場、誠にありがとうございました。



ご協力ください！

視覚障害者誘導用ブロック(点字ブロック)



←点字ブロックをふさがないで！

視覚障害には、まったく光が感じられない。ぼやけて見えにくい。見える範囲が狭いなどさまざまな障がいがあります。そのため、点字ブロックは、白杖で触れたり、足で踏んだりして存在や種類がわかるように突起がつけられているのです。



※点字ブロックは視覚障害者の大切な通り道です。点字ブロック上に、自転車や物が置いてあったり、人が立ち話をしていたら、歩行の妨げになります！
 ※特に自転車は、歩行の妨げになるだけでなく、白杖がからまったり、車体が倒れてきたりなど非常に危険です。視覚障害のある人が、安全に歩けるようご協力ください。一人ひとりの思いやりが大切です。



平成29年度日本赤十字社募金にご協力をお願いいたします

5月を強化月間として、日本赤十字社募金運動が全国一斉に実施されます。各地区の区長さん・班長さんの協力を得て戸別募金の協力依頼を行っています。

皆さまからお預かりした募金は、大規模災害時の災害救援に関わる費用や血液事業等人道的立場への支援、社会福祉の向上を図るための講習会などの資金として活用されます。

日本赤十字社埼玉県支部上尾市地区では、上尾市内で火災や水害などが発生した場合、救援物資(布団、毛布、日用品セット)や見舞金を被災された人にお届けしています。また、皆さまのお住まいの地区にお伺いして救急法講習会等を開催し、多くの皆さまに「日本赤十字社」の活動をご理解いただけるように努めています。

皆さまのご協力をお願いします。



平成28年度 上尾市社会福祉協議会 会員会費報告

(平成 29年 2月 28日現在)

地区名	件数(件)	金額(円)
上尾	2,870	1,717,460
平方	872	518,010
原市	1,283	808,500
大石	2,438	1,431,600
上平	1,657	1,037,000
大谷	1,347	799,550
原市団地	166	139,500
尾山台団地	290	192,950
西上尾第一団地	292	207,250
西上尾第二団地	257	210,500
その他	68	56,000
行政関係職員	1,075	819,500
小計	12,615	7,937,820
団体・施設会員会費	300	1,747,000
合計		9,684,820

世帯・個人会員会費

赤い羽根共同募金運動へのご協力ありがとうございました

今年度も、戸別募金や法人・個人大口募金、街頭募金、学校募金などさまざまな方法で、多くの皆さまに共同募金運動にご協力をいただきました。

平成28年度 共同募金運動結果報告

●赤い羽根共同募金実績● (平成 29年 2月 28日現在)

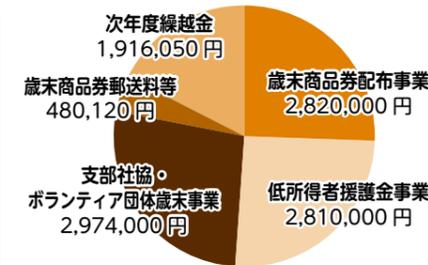
地区名	実績(円)
上尾	3,020,551
平方	709,217
原市	2,619,321
大石	2,819,351
上平	2,240,689
大谷	1,770,141
原市団地	77,942
尾山台団地	219,578
西上尾第一団地	292,109
西上尾第二団地	234,534
小計	14,003,433
法人募金・個人大口募金	1,255,290
街頭募金	316,201
学校募金	293,742
職域募金	1,339,650
合計	17,208,316

●歳末たすけあい募金実績● (平成 29年 2月 28日現在)

地区名	実績(円)
上尾	2,149,277
平方	402,053
原市	1,653,112
大石	1,761,823
上平	1,496,531
大谷	1,124,745
原市団地	59,351
尾山台団地	142,525
西上尾第一団地	230,486
西上尾第二団地	182,964
小計	9,202,867
法人募金・個人大口募金	387,990
街頭募金	308,207
合計	9,899,064

法人募金協力団体(順不同・敬称略)
 上尾市農業委員会/上尾市いきいきクラブ連合会/上尾市仏教会

●歳末たすけあい募金配分金事業●



平成 28 年度の歳末たすけあい募金は、繰越金を含め上記のとおり配分しました。

【配分事業内訳】
 ●歳末商品券 ●低所得者援護金
 ●支部社協・ボランティア団体歳末事業等
 ※配分金残額は次年度繰越金とさせていただきます。

共同募金運動にご協力いただいた方(順不同・敬称略)

- 戸別募金 上尾市民
- 学校募金 児童・生徒/保護者/学校職員
- 街頭募金 ボイスカウト上尾地区協議会/ガールスカウト上尾地区協議会/上尾市ボランティア連絡会/上尾市いきいきクラブ連合会/立正佼成会上尾教会/輪太鼓虹の会/上尾市社会福祉協議会 原市支部/西上尾第二団地自治会・上尾市社会福祉協議会西上尾第二団地支部(秋のつどい)
- 法人募金・個人大口募金 個人協力者/上尾市内外企業及び施設
- 職域募金 上尾市区長会連合会/上尾市民生委員・児童委員協議会連合会/学校職員/施設職員/団体職員
- 募金箱設置場所 ラッキーバード/上尾市総合福祉センター



事務区長さんをはじめ、各種団体の皆さま、市民の皆さまにご支援、ご協力をいただき、共同募金運動を実施することができました。

上記のとおり募金実績及び歳末たすけあい募金配分金事業についてご報告させていただきます。ご支援・ご協力ありがとうございました。

歳末福祉事業(味噌づくり交流会)

視覚障がいのある方と介助者および地域で支えてくださる方々と親睦を兼ねて味噌を一緒に仕込みました。

「お味噌は月日が増すごとに熟成され美味しさがまします」…お味噌のように地域の方々とも交流が深まっていくことを願っています。

歳末福祉事業の助成金のおかげで、お互いを知り理解する機会がもてました。



NPO法人 みのり

歳末福祉事業(季節を味わう会)

子どもだけでも気軽に行ける「こども食堂・とまと」では、子どもたちと地域の人たちが、直接会うことで「顔の見える」関係を築き緩やかな見守りをしたいと思っています。

「クリスマス会」「お正月を祝う会」「桃の節句を楽しむ会」季節を体感し特別な食事・イベントをとおして交流の輪が地域に広がる機会になりますように祈っています。



こども食堂とまと

善意銀行 平成29年度助成金のお知らせ

上尾市社会福祉協議会では、市民の皆さまより「社会福祉の向上のため」の善意の寄付をお預かりしています。この財源を元に、下記のとおり助成いたします。

1. 交通遺児の方への「入学・進級・卒業」の祝い金

- ① 対象** 交通事故により、親権者が死亡・重度後遺障害となった交通遺児と生活をともにしている保護者で、上尾市内に住所を有している方。*保護者が婚姻されたり、遺児を監護しなくなった場合は対象外となります。
- ② 申請方法** 以下の書類を社会福祉協議会へ、持参または郵送にて受け付けをします。
- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| A ：所定の申請書（印鑑要）
※社会福祉協議会事務局で配布しています。
また、HPよりダウンロードができます。
(http://www.ageo-shakyo.or.jp) | B ：事故証明書または死亡診断書の写し |
| C ：入学・進級・卒業を証明する書類 | D ：住民票（家族全員が記載されたもの） |
| E ：保護者名義の通帳の写し | |
- ③ 受付期間** 平成29年4月3日(月)～4月28日(金) 月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15

2. 社会福祉向上のための事業助成

- ① 対象** 市内に活動の拠点を置いて福祉に関する活動を行う社会福祉法人、NPO法人、その他の任意団体。
- ② 対象事業** 高齢者、障がい者、児童等の福祉向上につながる社会福祉事業
※団体の日常的な経費、定例化した事業については対象外
※詳細についてはお問い合わせください。
- ③ 助成金額** 10万円以内 ※審査があります。
- ④ 申請方法** 以下の書類を社会福祉協議会へ提出してください。
*審査のために詳細を確認させていただきますので、必ずご持参ください。
A：所定の申請書（印鑑要）
※社会福祉協議会事務局で配布しています。
B：事業計画 **C**：事業予算 **D**：団体の概要のわかるもの
- ⑤ 受付期間** 平成29年5月1日(月)～5月31日(水) 月～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:15

◇ 申請及び問い合わせ先 ◇
〒362-0011
上尾市大字平塚724番地
上尾市総合福祉センター内
上尾市社会福祉協議会 地域福祉課
TEL 048-773-7155

善意銀行・ボランティア基金にご協力をいただきありがとうございました

お預かりしました寄付金は有効に活用させていただきます。(平成28年12月1日～平成29年2月28日までの受付分)(順不同・敬称略)

善意銀行 (寄付金)		
寄付者	寄付金(円)	寄付先
上尾市立中央小学校 PTA	10,000	上尾市社会福祉協議会のために
齋藤唯夫 齋藤君江	20,000	上尾市社会福祉協議会のために
上尾遊技業組合	300,000	上尾市社会福祉協議会のために
根貝戸地自治会	2,405	上尾市社会福祉協議会のために
匿名	1,391	上尾市社会福祉協議会のために
匿名	2,665	上尾市社会福祉協議会のために
いきがい大学伊奈学園グランドゴルフ愛好会	5,000	上尾市社会福祉協議会のために
遍照院	23,394	上尾市社会福祉協議会のために
結城和也音楽事務所	50,000	上尾市社会福祉協議会のために
上尾歌声広場	8,151	上尾市社会福祉協議会のために
上尾ライオンズクラブ第1回チャリティカラオケ大会	50,000	上尾市社会福祉協議会のために
備前の里歩こう会	20,000	上尾市社会福祉協議会のために
(株)ベルク 上尾春日店	16,149	上尾市社会福祉協議会のために
(株)ベルク 上尾東店	39,865	上尾市社会福祉協議会のために
富士見いきいきむつみ会	3,700	上尾市社会福祉協議会上尾西支部のために
匿名	2,730	上尾市社会福祉協議会上尾東支部のために
原市地区いきいきクラブ連合会	5,853	上尾市社会福祉協議会原市支部のために
原市九区いきいきクラブ	10,155	上尾市社会福祉協議会原市支部のために
戸崎ゴルフクラブ	10,700	上尾市社会福祉協議会大谷支部のために
大谷小学校昭和43年度卒業生同窓会	2,278	上尾市社会福祉協議会大谷支部のために
原市地区いきいきクラブ連合会	8,883	上尾市社会福祉協議会尾山台団地支部のために

ボランティアグループ手芸の会	50,000	在宅サービス上尾サロン備だまりのために
匿名	5,000	えだまめ子ども食堂のために
匿名	5,000	こども食堂とまとのために
特別養護老人ホーム蒼きの里	12,240	こども食堂とまとのために
ミント Eco Club	6,201	陸前高田市社会福祉協議会のために

善意銀行 (寄贈品)	
寄付者	寄贈品
若森照夫・ナツノ	敷布団2枚、掛布団6枚
太刀川 和喜子	手作りぞうきん10枚
コンサートホール上尾	お菓子大2箱
上尾白ゆり会	タオル1,500枚、せっけん1,410個
上尾歌声広場	カレンダー50本
株式会社サイレイ	ケーキ30個
ヴェルデランド株式会社	お菓子 1箱
植田幸一	電気まほうびん 2.2ℓ
細野陽子	家具・よしず・ブロック等

ボランティア基金 (寄付金)	
寄付者	寄付金(円)
こより会	50,000
みやした幼稚園	28,385

上尾市障害福祉サービス事業所

「かしの木園」

上尾市障害福祉サービス事業所「かしの木園」は、上尾市総合福祉センター1階にあります。市内在住の18歳以上の心身に障がいのある方が、自立と社会経済活動への参加を図ることを目的とした支援施設です。



「ろくろ」を使って小鉢を作っています。

牛乳パックの溶液から、はがきを作っています。

室内作業班、日中活動班、外作業班の3つに分かれて作業を行っています。室内作業班は、スプレー缶の部品組み立ての軽作業や、本・カレンダーを解体するリサイクル作業などを行っています。日中活動班は、さをり織り作業、歩行訓練、リハビリなどを行っています。外作業班は、市内の皆さまからアルミ缶を提供いただき、その缶をプレスするリサイクル作業と畑作業などを行っています。

余暇活動の時間で、スポーツや調理実習などを行っています。

陶芸品・紙すき製品を常設販売しています。

- ①市役所1階「ふれあいの店」
- ②上尾駅東口 A-geo・town2階「あびっと!」
- ③上尾市総合福祉センター1階ロビー

イベントに参加します

- 上尾市障がい者手づくり市(上尾駅改札前) 4月15日(土)午前10時30分～午後6時
- 第19回上尾市障がい者作品まつり 5月25日(木)～28日(日) 午前10時～午後7時(最終日は午後5時まで) イトーヨーカドー 1階センターコート

金曜日は、自主生産品活動として、利用者が思い思いに形作る陶芸製品や、牛乳パックを再利用した紙すき製品を製作し、販売しています。

かしの木園へご寄付をいただきました。

寄付者	寄付品
季節料理 太郎	お菓子

ありがとうございました。(敬称略)